はじめに

学級づくりが難しくなったと言われます。かくいう私も学級づくりに悩む教師でした。

私は、一九年間、小学校の教師でした。最初はつまずきの連続でした。私も「私なり」にいろいろ努力をしてきたつもりですが、やはり経験と勘だけに頼った実践は、一貫性に欠けていました。

学級づくりは、ほとんどの教師がその重要性を認識していながら、その質的な向上は、個人の努力に任されているように思います。私にとって、そんなばらばらな努力を意味づけ、整理してくれたのがアドラー心理学だったのです。アドラー心理学は、実践に根拠を与えてくれました。根拠を得たことで、自信を持って子どもの前に立つことができるようになりました。とはいえ、私は「まず、アドラー心理学ありき」で実践をしてきたわけではありません。主張を鵜呑みにすることなく、自分なりに解釈し実践をする中でその有効性を実感してきました。

アドラー心理学はよさそうだけど、なんだかわかりにくい……。本書は、そんな先生方に向けた、私なりの「勇気づけの学級づくり」です。本書が、先生方の自信と勇気の一助となれば幸いです。